



BOAT IMPRESSION

NEW JAPAN MARINE NSC265

NEW JAPAN MARINE NSC265

全長:7.98m、全幅:2.77m、全深さ:1.32m、全高:2.31m、艇体質量:1,680kg、燃料タンク容量:250L、最大搭載人員:12人、航行区域:限定沿海、最大保証馬力(PS):250、エンジンタイプ:船外機※エンジン別売
標準小売価格:¥6,170,000 エンジンレス 税別



「揺れにくく、叩きにくく、流されにくい」カタマランフィッシングボート。それが今回ご紹介する「NEW JAPAN MARINE NSC265」の特徴だ。カタマランハルの持つ特性を最大限まで発揮した構造により、柔らかい乗り心地とフィートサイズ以上の安定性を実現している。このボートはより高い走行性能を求めて、従来型に対して水線長(水切り面の長さ)を約2フィート伸ばしており、横安定性を20%、推進効率を5%UPしている。これにより海上での横流れについても、これまで以上に強く

なったのである。また、船首ステムの形状をかなり深くしつつ、船底トンネル部を特殊心材のサンドイッチ構造としたことで、軽やかな凌波性も実現している。撮影艇はヤマハ船外機F250を搭載しており、テスト走行では最高速34ノットを記録したとのこと。撮影当日は湾内でさえ白波が立つ相当なラフコンディションだったため、最高速まで加速はしていないが、それでもさすがカタマランボートと感じさせてくれる高い走行安定性と凌波性を披露してくれた。続いてデッキエリアとキャビン



パウバースにはキャビックッション(OP)も完備。



パウバース手前には電動マリントイレ(OP)もある。



フロアセンターロッカーは入口以上の中が広い。



航海計器類の設置エリアも広く確保してある。



ヘルムは機能的なレイアウトを実現。



ナビ回転シート(OP)やテーブル(OP)も装備。

アフトデッキは26ftクラスとは思えない広さを確保し、中央の両サイドにはイクスを配置している。海上での安定感も抜群で、釣りも快適に楽しめそうだ。



ウォークアラウンドも広く、パウデッキへのアクセスもスムーズ。デッキのどこからでも釣りを楽しめそうだ。2ステーションになっており、戦闘力は高い。

ご紹介していこうと思う。まず、デッキエリアに関してだが、パウデッキとアフトデッキを繋ぐウォークアラウンドは幅がしっかりと確保されており、船内の移動はとてもスムーズだ。デッキエリアの形状は比較的フラットな部分が多く、釣りや海上での作業も容易に行えそうだ。また、カタマランハル特有の横流れの無さも釣りのシーンでは大きなメリットとなるだろう。右舷側にはリアデッキコントロール(OP)が装備されており、細かくポイントを攻めたい時や離着岸のシーンでは重宝したいところだ。そして、キャビンはというと、こちらも十分な広さと機能性を持ち合わせた充実した空間が演出されている。まず、取り上げたいのはキャビンからの視認性の良さだ。キャビンを囲むようにウィンドウが配置されており、操船時はもちろん、ゲストも広い視野でクルージングを楽しめるのである。パウバースにはキャビックッション(OP)を配置したことで、適度にここで休憩することもできる。ヘルムは機能的な配置なので、航海計器類も比較的大きめのサイズを選択しても面白いだろう。左舷側にはナビ回転シート(OP)やリアシートがあり、間にテーブル(OP)を配置することもできる。NSC265はカタマランボートの進化形として、柔らかな乗り味を楽しめる走行性能と釣りやクルージングに最適な機能性を持ち合わせた1艇となっていた。